

令和8年度
第2回

落語鑑賞会

都合により、出演者を変更する場合がございます。(順不同)

こがねや てつべい
黄金家 鉄兵

じゃんぼ きぬがさ
ジャンボ 衣笠

せんてい しよう
善亭 ぶ生

てい
フチ亭 とまと

げいいてい ばしよく
鯨韻亭 馬笑九

てい じようじ
あたし亭 丈二

とき 令和8年12月13日(日)

開場12:30 開演13:00

ところ マリモホールディングス安芸区民文化センター
スタジオ(2階)

木戸銭 前売 700円 当日1,000円 (消費税込)

(※前売で定員に達した場合は、当日券の販売はありません)

前売券は、マリモホールディングス安芸区民文化センター1階事務室にて販売しております。
ホームページまたはお電話でのチケット予約も受け付けています。

【チケットの予約・お問合せ】

(公財)広島市文化財団 安芸区民文化センター

広島市安芸区船越南三丁目2-16

TEL:082-824-1330

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/aki-cs/>

休館日 毎週月曜日(但し祝日の場合は開館)

主 催/(公財)広島市文化財団 安芸区民文化センター、広島演芸協会

後 援/広島市、広島市教育委員会、府中町教育委員会、海田町教育委員会、熊野町教育委員会、坂町教育委員会

中国新聞社、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島

広島エフエム放送、ちゅピCOM、FMちゅーピー76.6MHz



↑こちらからもチケット予約が可能です。



☆駐車場に限りがありますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。また、違法駐車や近隣のお店等への迷惑駐車は絶対におやめください☆

出演者紹介



あつし 前田 丈二

広島で生まれ育ち、大学時代に落語を始める。一時は落語と遠ざかるも、その後再開。上方落語を得意とする。同協会のジャンボ衣笠と共に、中学校で落語指導を行うなど、優しい笑顔と軽やかな語りで落語の普及につとめている。



鯨韻亭 馬笑丸

得意な噺は「うどん屋」に「たけのこ」。江戸・東京落語を中心に、酒蔵、居酒屋などの高座でも聴く人を魅了する、その名の通り「鯨飲馬食」のグルメな？落語家。俳優・伊武雅刀を彷彿とさせる眼力がチャームポイント。



フチ亭 とみと

修道大学へ入学した美しき乙女が、友人の付き添いで落研へ。やがて落研の先輩は夫となり師匠となり…。運命に導かれ、今では広島女流落語の大看板。女性ならではの「粋」を感じさせる語りに定評あり。



善亭 ぶ生

旅する落語家。趣味はジャズ、写真。出囃子は、あの立川談志の出囃子でもあった「木賊刈」。講談を得意としている。



ジャンボ 衣笠

呉信用金庫勤務時代にお客様へ小噺を披露したのをきっかけに落語歴36年。広島弁の語りが好評の人気者。2021年、広島県観光連盟から「会って元気になれる23人」に選ばれ、同連盟監修の「ひろしま元気本」にて紹介された。広島と東広島で落語教室開催。



黄金家 鉄兵

酒と時代小説を愛する広島演芸協会の大番頭。東京での11年間の単身赴任生活の後、平成28年より広島へ。夫婦で同協会に所属し活動している。また、同協会の落語家・柱笑福と定期的に開催している「笑鉄みんな会」は根強いファンが多い。

次回 落語鑑賞会のお知らせ(予定)

令和9年2月23日(火・祝)

前売券 700円
当日券 1,000円
(消費税及び地方消費税含む)

※都合により、出演者を変更する場合がございます。
前売券の販売開始は、開催日の約2ヶ月前となる予定です。
前売で定員に達した場合、当日券の販売はございません。

葡萄亭 わいん
安産亭 徳丸
善亭 ぶ生
ジャンボ 衣笠
桂笑福
秋風亭 てい朝

広島演芸協会のご紹介

1960年代テレビの普及で生まれた落語ブームにより、全国的に大学の「落研(落語研究会)」の活動が盛んになりました。広島では1972年に広島大学、広島修道大学、広島経済大学、広島工業大学の各落研と、市役所職員の愛好者による市役所落語村、東洋工業(現・マツダ)の愛好者による「広島落語連盟」が結成されました。同連盟では年に数回の口演やプロの落語家を招いての稽古会などを行いましたが、後に消滅。その後個人の活動を経て、1998年、連盟の仲間を中心に「広島演芸協会」を設立しました。協会のメンバーは、市内各区民文化センターをはじめ、県内のさまざまな施設で口演を行っています。